



関東青雲同窓会 2024年度 活動報告



この先、何をあげようか

「誰かに何かを与えること／低い所から高い所に移すこと／地面から空中に浮かべること／水中から陸上に移すこと／家の中に人を入れること／芸者さんを宴席に呼ぶこと／データをインターネット回線でサーバーに送ること」これらは全て『あげる』と言う。勿論、天麩羅を作ることもそう。このように「あげる」を使う日本語は非常に多く、あまり考え過ぎると自ら血圧を上げてしまいそうなので注意したい。

ビジネスではよく「社員のモチベーションを上げるために何が必要か」と、出るはずのない答えを求めて無駄な時間を費やすことがあるが、ある人はその答えを「給料を上げること」と言い切った。モチベーションの向上と給料アップをイコールとするのは、ある意味正解なのだろうか。人間心理をくすぐるなら正解だろうが、私は不正解だと思う。

さて、同窓会のモチベーション向上はどうだろう。青雲の名の下に活動する我々の同窓会は、青雲魂を合言葉にいかに楽しむかでモチベーションを維持し、向上にもつながっている。そして今、何よりも忘れてはいけないのは、平成19年で幕を閉じた函館東高校の同窓会を継続させていくためのモチベーションだろう。東高の卒業生は57回生で終わることが確定している。しかし、同窓会の継続は永遠のテーマであり、多くの人のモチベーションアップが望まれる。誕生しているが活動実態に乏しい市函高の柳星同窓会。既に全国で活躍する彼等彼女等へ、青雲からのエールは少しずつ届きつつある。

関東青雲同窓会 会長
横井 透
(東高30回生)



A・GE・RU

コロナが第5類になって2年が経とうとしています。
気落ちしがちな時期を乗り切った後は、兎にも角にも
アゲテ前進していきましょう! という特集です。

▲ 風 を ア ゲ ル ▲



株式会社オーバル
佐々木 美幸
(東高20回生)

ひんがしProject「モンゴルの大草原で花の風を揚げる」

2024年(令和6年)6月29日～7月3日

2024年7月、モンゴルの空に花の写真の風が揚がり
ました。株式会社オーバルは日本写真協会の賛助会社
です。その縁で2017年、2022年にモンゴルを訪れて友
好の絆ができたことが始まりです。

毎年、卒業生の20、31回生が中心となって、東高校
の有名な風先生こと梅谷先生から譲り受けたたくさ
んの風を、風揚げの会「ひんがしProject」として東京湾を
望む葛西臨海公園で揚げてきました。2023年には自分
たちでも風を作ってみたいというメンバーの声から、ワー
クショップを開催。その時に、揚げるだけではなく作る
喜びも経験しました。そして日本とモンゴル双方の子供

たちが撮影した花の写真の風を仕立て、モンゴルの広い
空で揚げることを、写真と風のコラボの企画を思いつい
たのです。日本の子どもたちの写真はさまざまな団体さ
んの協力をいただきました。いつも子どもたちの可能性
を信じ、大事にしていた先生の「風を揚げて、顔をあげ
て上を向こう!」の意思が風を通じて、少しでも広く繋げ
ることができたら嬉しく思います。

＊4月の風揚げもぜひご参加ください。

＊子どもたちの団体に興味のある方はご連絡ください。
運営のための協力や寄付を求めています。

モンゴルの空を舞う連風とラクダとゲル。
32回生 赤間さんお気に入りのベストショット。



▲ 風 を ア ゲ ル ▲



宇野 玲子
(東高31回生)



Harhorin高校の生徒たちとモンゴルツアーの仲間たち。



遊牧民の子供たち、大活躍。

ある日、20回生の佐々木さんより「モンゴルで風揚げ、どうかなあ」という連絡がありました。「ビバン、未知の場所」という思いが駆け巡り「いいと思います!」と即答。それが「モンゴルで風揚げ」のスタートでした。

モンゴルに着いて夕日を見ながらのバス移動。ゲルに荷物を置き夕食後、風の糸通しや金具付けを眠い目を擦りながら必死になって準備しました。翌日、遊牧民の小学生以下の子供達との風揚げは、最初戸惑って

いた子供達も楽しんでるようで風が弱かった中、元気いっぱい走り回ってくれました。

次の日は、中学生以上の子供たちとの風揚げです。風を探し、河原から丘の上へ移動、吹きおろす風に風がちぎれるハプニングもありましたが、無事高く上がり、「やったー」の歓声と拍手で皆んな笑顔になりました。その後は学校に行きワークショップを開催。子供達も風作りを体験し質問も飛び交い楽しんでいるようでした。そして私達のバスが見えなくなる迄手を振って見送ってくれました。子供達との触れ合い、長距離バス移動、夜な夜な飲み会、どれをとっても素敵な体験でした。



モンゴルの遊牧民が暮らす移動式住居「ゲル」



風を揚げた近くのゲルに泊まりました。

ウランバートルへの帰路。ランチは多国籍風。



同行した皆様に感謝です。とても有意義で楽しい旅になりました。

Harhorin高校の生徒たち。遠くに風が揚がっています。

■ 小田 利隆 (東高28回生)

昨年2024年の関東青雲同窓会 新年会に28回生ただ一人の参加であったが、その席で「ひんがしProject」の内容を聞き、TBS日曜劇場「VIVANT」の余韻もあり、参加を決意。旅行気分だった自分には驚きと感動の連続であった。現地で揚げる風作りや風揚げ実習を経てモンゴルへと旅立った。佐々木美幸さんの企画力・リーダーシップと盛長幸夫さんの技術指導に感謝しております。日本の子供たちが撮影した写真風を、モンゴルの子供たちが現地で飛ばすという夢と希望が持てる、とても幸せな気分になれる企画に感動しました。

■ 落合 浩一 (東高30回生)

私が持って行った「タコ」は「イカ」娘を背景に「平和」と書いたもの。現地の子供に「揚げたい人?」と聞いたら、みんなこぞって手を挙げてくれました。羊をバイクで追う現地の子供たちのたくましが印象的でした。

ガイドさん含め、みんなで次の日の風の準備をしながら、ゲルに集まってお酒を持ちよって語りあったのも楽しい思い出のひとつです。

【参加者】 佐々木 美幸 (東高20回生)、盛長 幸夫 (東高22回生)、小田 利隆 (東高28回生)、落合 浩一 (東高30回生)、宇野 玲子 (東高31回生)、赤間 美樹 (東高32回生)

■ 赤間 美樹 (東高32回生)

「えっ! 風揚げでモンゴルですか?」
「...行きます!」

速攻で決めたモンゴルへの旅、天候にも、出会いにも、数々のイベントにも、ハプニングにも恵まれ、今も情景が鮮やかに浮かぶ、とても素敵な時間でした。
またいつか。



▲ 函 館 を 盛 り ア ゲ ル ▲



第二物産株式会社
代表取締役
青雲同窓会
田中 雅世
(東高33回生)

名産品で知名度を上げる商品開発「函館しおからポテト」物語

函館近郊は元々じゃがいもの産地であり、ホクホクの蒸しイモにイカの塩辛を乗せて食べるスタイルがあります。その味をお手軽に食べられるように再現したスナック菓子が「函館しおからポテト」です。真空フライ製法でカリッと揚げたポテトの食感と、イカの塩辛の強い旨味や風味が特徴です。

わが社の本業は卸売業です。主力は業務用食品と建設資材で、今期で77期目をむかえています。当社の強みは創業以来お付き合いをいただいている顧客様と大手

商社などの仕入先です。しおからポテトの商品開発も、何とか函館を盛り上げたい、地域産業に貢献したい、という気持ちでお客様と一緒に考えました。

スナック菓子製造の企画を機に、目まぐるしい数年間を過ごすことになりました。まず2017年10月、大手食品会社での勤務経験を持つ田仲真人氏を迎え菓子の販社として(株)エムティーコーポレーションを設立しました。2018年3月発売当初は水産加工会社に委託製造していましたが、2年後に製造所を取得し、現在は約

20種のポテトやマカロニのスナック菓子を展開し、野菜の皮むき加工も手掛け、小規模ながら「製造卸売業」を営む会社となりました。

わが社は長年、地域の顧客様と共に歩んできましたので、何といたっても函館に良くなってほしいという思いが強いです。函館しおからポテトは函館空港や地元の土産店でも販売していますが、更に道外への販路を開拓し、名産品として地域ブランド普及の一助を担うことを目指しています。



製造スタッフと。手に持っているのが函館しおからポテト。

水産加工の魅力で、業界全体を盛り上げる



株式会社 チガイチ青山
代表取締役
青山 達也
(東高35回生)

函館といえば水産、歴史ある産業を家業とする同窓生、青山さんにお話を伺いました。

— 御社の仕事内容を歴史と共に教えてください。 —

チガイチ青山は、前身が昭和20年に設立。イカ珍味の加工を主力事業として発展してきました。令和4年からはホタテの加工にも本格的に取り組む、北海道産の高品質なホタテを国内はもちろん、海外にも届けています。長年培ってきた加工技術を活かしながら、時代に合った商品開発を進め、水産業界の可能性を広げています。



になったのが大きな変化です。

特に印象深いのは、初めて海外の取引先にホタテを納品し、「こんなに美味しいホタテは食べたことがない!」と絶賛されたことですね。北海道の海の恵みを世界に届けられていることを実感した瞬間でした。

— 可能性を感じる反応ですね。最後に、これからさらにアゲテ行きたいことがあったら教えてください。 —

今後は、さらに海外市場への展開を強化し、北海道のホタテのブランド力を高めていきたいです。現地のニーズに合わせた加工や、新しい食べ方の提案にもチャレンジしていくつもりです。また、地元の若い世代にも水産加工業の魅力を伝え、業界全体を盛り上げるような活動をしていきたいですね。

青山さん、ありがとうございました。同級生の中でも在学中から異彩を放っていた彼ですが、函館を担う業界でさらに高みを見ている姿にいつも勇気づけられます。

■取材：関東青雲同窓会 副幹事長 東高35回生 塩越 佳奈



— 令和4年に新たな工場を稼働されたんですね。どのような幅が広がっていますか？ また、印象深い出来事などあったら教えてください。 —

新工場の稼働により、イカ珍味の生産体制がより効率化されただけでなく、ホタテ加工という新たな分野にも挑戦できるようになりました。これにより、国内市場だけでなく、海外への輸出も本格的に展開できるよう

▲ 函 館 を 盛 り ア ゲ ル ▲



函館市経済部長
氣田 聖大
けた まさき

ふるさと納税を通じた 「函館のファン獲得」と 「魅力あるまちづくり」に向けて

函館市は、市長が掲げる「ふるさと納税100億円」という大きな目標に向かって寄附増額の取り組みを強化しております。

具体的には海産物やスイーツ、旅行商品など、豊富に揃えている返礼品の様々な機会を通じたPR活動のほか、返礼品のさらなる充実、ポータルサイトの商品

デザインのリニューアル・パンフレットの刷新、サイトの追加、新商品・限定商品・お得情報等の発信強化など、全国の皆様に興味を持っていただき、選んでいただけるよう取り組んでまいりました。

その結果、令和3年度(2021年度) 8.7億円、令和4年度(2022年度) 11.9億円であった寄附額は、令和5年度(2023年度)は15.2億円、令和6年度(2024年度)は12月末時点で既に20億円を突破するなど、着実に増加しております。

物価高騰など社会経済環境の変化や国の制度改正など、ふるさと納税を取り巻く環境が大きく変化しておりますが、寄附額のさらなる上積みを目指して引き続きチャレンジしていくとともに、住んでいる市民や故郷を想う皆様が「誇れるまち」、訪れる方々にとって「魅力あるまちづくり」に向けて、いただいた貴重なご寄附を有効に活用し、各種施策の展開や地域に還元できるよう全力で取り組んでまいります。

改めまして、これまでの皆様からの函館への想いやご支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、ふるさと納税を通じて、さらに函館のファンが増え、応援していただけるよう、職場やお知り合いの方など沢山の方々に函館のPRを何卒よろしくお願いいたします！



▲ 就 職 率 を ア ゲ ル ▲

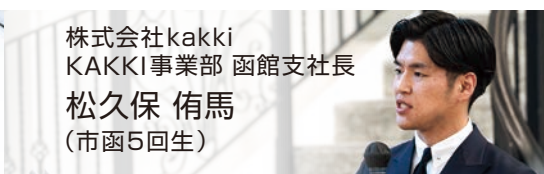
未来の函館を 活気付けるために

2024年5月、関東青雲同窓会 総会・懇親会に颯爽と現れた市立函館高校5回生の松久保さんは、聞けば横井会長のサッカー部後輩。函館の子供たちを対象に、Jリーガーをはじめプロサッカー経験者とイベントを開催するので宣伝させてほしいとやってきました。キラキラした瞳に一筋の光が差したように思えた彼の志は、実はもっと未来の函館を見据えていました。柳星会同窓生の中に「青雲の志」を見た思いです。きっと未来を支えるであろうその活動をご紹介します。



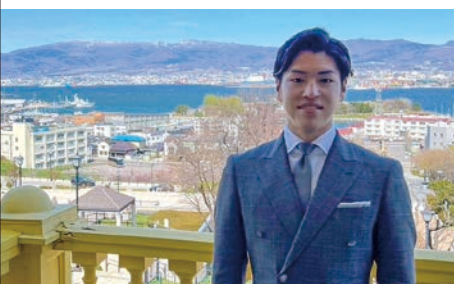
『HAKODATE KAKKI』は、若者の地元離れが深刻な函館市において、市内学生と企業を繋ぐために設立された函館市専用のSNS型リクルートサイトです。市内企業は、高額な費用をかけて大手リクルートサイトに掲載しても、札幌や本州の企業に埋もれてしまい、学生の目に留まりません。その結果、市内学生は函館の企業を知る機会がほとんどなく、2024年度は市内大学・高専生の8割近くが市外に就職しています。『HAKODATE KAKKI』では、学生が求める企業の日常風景などを記事として投稿

株式会社kakki
KAKKI事業部 函館支社長
松久保 侑馬
(市函5回生)



することが可能です。また、大学の授業やイベントを通じ、学生が市内企業と連携し、採用ページの作成や記事の投稿をサポートするため、就活時期に関わらず学生と企業が接点を持つことができます。昨年、函館大谷短期大学と連携し、1年生33名が3ヶ月間、7グループに分かれて市内7企業のアカウント運営を手伝う授業を実施しました。学生達は、社員インタビューやオフィス見学を自主的に行い、学生がつい見たくくなるような記事を作成し、投稿しました。この取り組みは新聞やTV、ラジオなど多くのメディアに取り上げられ、現在、市内大学・高専の学生登録数が急増しています。また、市内企業からも、市内学生に効率よく情報を届ける手段が無かったとして注目を集めています。

『HAKODATE KAKKI』は徐々に普及していますが、ゴールはあくまでも、市内の学生が函館で働く魅力に気づき、市内就職率が向上することです。





西 早哉佳
(東高40回生)

ココロをアゲル原点を発見。

第40回 総会・懇親会を40回生の私たちが幹事として担当したことに、何とも言われぬ巡り合わせを感じます。

コロナ禍の影響で4年ぶりに開催された第39回 総会・懇親会に初めて参加し、節目となる第40回を記念すべき賑やかで楽しい会で締めくくることができたことを、大変嬉しく思います。これも役員のみなさま始めお手伝いくださった諸先輩方のおかげと感謝いたします。



懇親会は大泉市長の挨拶から始まり、僭越ながら私が司会進行を務めたクイズ大会、そして最後かもしれない応援団の演舞と、あっという間に過ぎ去った2時間半でした。残念ながら私たちの世代には応援団がなく、応援歌を歌う機会にも恵まれませんでしたが、どこか懐かしくまるで千代台で聞いたことがあるかのような錯覚を覚えたのはなぜでしょうか。

その後の応援団員の方々による自己紹介を兼ねた漫談?は、シュールな笑いが尾を引く面白さで、多彩な先輩方を象徴していました。写真は衝撃でしたが・・・。心に残るひとときでした。

最後の校歌斉唱では、「覚えていない、知らない、知らない」と言い張っていた同期が、転調するのが特徴なんだと解説しながら身振り手振りを交えて歌う姿は、尊いものでした。

関東圏でのサラリーマン生活は決して平坦なものではありませんでしたが、それを乗り越え、前に進んでいくスピリッツは、ここにあったのだと感じました。

高校生活はたった3年間、されど3年間。このひとときが東高生としての誇りを噛みしめ、思わず「昭和最高」と叫びたくなる貴重な時間となりました。

人生100年時代。折り返し地点に差し掛かったばかりですが、後半戦は同窓生の出番が多くなる予感が

します。これからも同期の絆を広げ、後輩たちへの橋渡しをできればと思っています。

【令和7年(2025年)2月1日 新年会報告】



関東青雲同窓会
副会長
北村 雅樹
(東高33回生)



新年会で 盛りアゲル!

2025年2月1日、令和7年新年会は、銀座6丁目にある「グレースバリ銀座店」で12:30より開催されました。

当日のご参加は70名(出席者名簿はP15をご参照ください)。会場は宴会、パーティなどに最適化されており、たくさんの大型スクリーン、集合写真にうってつけのひな壇、やや耳が痛くなるほど聞えのいいサウンドディング、PC・スマホどんとこいのIT 接続環境を装備。お食事も適度な量と程よい味付けだったかな?と思っています

す。実は、今年の新年会の裏テーマは市立函館高校・柳星同窓会との交流促進でした。横井会長が市函5回生の小林君を壇上にあげて紹介。全員での市函校歌斉唱は、想像以上に感動的な時間でした。

私は関東青雲同窓会に参加して、初めて市中校歌を知りましたが、今では当たり前のように歌えます。これからは市函の卒業生が、関東青雲同窓会に参加して東高校歌を知る、そして会が繋がっていく。そんな役目を実感した1日となりました。

令和6年(2024年)5月25日 総会 出席者 (敬称略)

●ご来賓 (役職は当時のものです)

大泉 潤 函館市長
高 由起子 函館市役所 観光部 観光誘致課長
花松 均 市立函館高等学校 校長
早川 裕香 柳星同窓会 会長 市函1
葉袋 泰 北海道道南会 会長
松田 昇 北海道道南会 顧問
廣瀬 晶子 戸田中央メディカルケアグループ
社会貢献推進部 SDGs推進室 部長 室長
小笠原 正吾 青雲同窓会 会長 東高37
平沼 冠三 青雲同窓会 顧問 東高18

斎藤 晋吾 青雲同窓会 札幌支部 支部長 東高22
中橋 慶 青雲同窓会 札幌支部 会計監事 東高42
板倉 恵美 東海青雲同窓会 会長 東高16
細田 雅人 関西青雲同窓会 会長 東高28
白川 正広 函館中部高校 白楊ヶ丘同窓会 東京支部 支部長
折田 信一 函館西高校 つまじヶ丘同窓会 東京支部 会長
高田 慎哉 函館西高校 つまじヶ丘同窓会 東京支部 事務局長
道下 佳拓 函館商業高校 東京函商同窓会 会長
本間 和吉 函館工業高校 函工同窓会 関東支部 支部長
澤出 重雄 函館工業高校 函工同窓会 関東支部 事務局長

市中5 池田 義夫
市高2 沼崎 貞良
東高2 成田 恭子
付添 成田 幸孝
東高6 服部 敏子
付添 服部 徹
東高10 船坂 美以子
東高10 木島 三樹男
東高10 小林 渡洋雄
東高10 中野 文子
東高11 石田 修裕
東高11 新山 春一
東高11 星 滋子
東高12 浅野 皓司
東高12 佐藤 妙子
東高12 杉本 常三郎
東高14 伊勢谷 由美子
東高15 中川 和彦
東高16 原岡 路子
東高16 檜森 元兄
東高16 諏訪内 治子
東高16 小杉 茂美
東高16 増野 建一
東高16 山本 眞里子
東高16 羽場 静子
東高18 北原 恵一
東高19 小川 利勝
東高23 高橋 喜宣
東高24 千歳 芳充
東高24 吉川 範明
東高24 竹内 清
東高26 奥山 智美
東高26 佐藤 司
東高27 上口 孝之
東高27 米坂 知昭
東高27 駒木根 淳
東高28 小田 利隆
東高28 小澤 百合子
東高29 村田 学
東高30 横井 透
東高30 古川 清志
東高30 長澤 圭祐



東高30 竹内 修
東高30 谷本 由紀美
東高30 中川 孝子
東高30 小原 ゆかり
東高30 藤塚 雅之
東高30 前川 裕昭
東高30 中村 耕也
東高30 落合 浩一
東高30 橋本 裕美
東高30 吉野 毅
東高30 吉村 宗則
東高30 小鼻 章夫
東高30 齋藤 敦子
東高31 加茂 千恵子
東高31 宇野 玲子
東高31 小早川 明也
東高31 塚田 善彦
東高32 赤間 美樹
東高32 金澤 慎司
東高32 石田 伸
東高32 丸伊 宏子
東高32 相馬 宏之
東高33 上村 剛
東高33 真田 美苗
東高33 北村 雅樹
東高33 小松 卓郎
東高33 西岡 由紀子
東高33 吉田 まどか
東高33 霞 修治
東高33 平野 秀人
東高33 丸山 忠美
東高33 大山 元司
東高34 土肥 健作
東高34 宮川 博昌
東高34 袴田 隆雄
東高34 石塚 由美子

東高34 山田 宜裕
東高34 薄田 香
東高34 窪田 志保子
東高34 吉澤 史也
東高34 辻 峰子
東高34 佐藤 信吾
東高34 河邊 則宏
東高34 西村 真樹
東高34 小室 博之
東高34 本間 丈夫
東高34 村中 満
東高34 坂井 秀樹
東高34 梅田 大介
東高34 西村 玲
東高34 渡邊 至高
東高35 川崎 都子
東高35 山形 歩
東高35 山岸 ゆりか

東高35 濱野 珠江
東高35 立花 史博
東高35 畑中 正視
東高35 山形 裕之
東高35 金札 謙治
東高35 藤巻 正人
東高35 塩越 佳奈
東高35 菊地 美升
東高35 武田 満希
東高36 鹿内 暢
東高36 小池 等
東高36 山岸 良一
東高36 佐藤 隆浩
東高36 高橋 和佳子
東高37 野村 雄次
東高37 西田 正尚
東高37 関川 都代
東高37 清宮 麗子

東高37 横沢 直子
東高40 西 早哉佳
東高40 平野 千香子
東高40 北澤 さよい
東高40 西沢 孝光
東高42 神農 美亜子
東高43 阿部 努
東高46 高橋 佑介
東高47 金子 稔
東高47 上野 茂秀
東高47 武村 英紀
東高57 三浦 和大
市函5 松久保 侑馬

(146名)

令和7年(2025年)2月1日 新年会 出席者 (敬称略)

市中5 池田 義夫
市高2 沼崎 貞良
東高10 小林 渡洋雄
東高10 藤井 英司
東高11 石田 修裕
東高11 新山 春一
東高12 佐藤 妙子
東高12 杉本 常三郎
東高13 酒井 俊行
東高15 中川 和彦
東高16 諏訪内 治子
東高16 檜森 元兄
東高16 小杉 茂美
東高16 増野 建一
東高19 小川 利勝
東高23 高橋 喜宣
東高24 竹内 清
東高24 千歳 芳充
東高26 紀國 仁
東高26 佐藤 司
東高27 木原 仁
東高27 上口 孝之
東高27 駒木根 淳
東高28 小田 利隆
東高30 落合 浩一
東高30 吉村 宗則
東高30 横井 透
東高30 古川 清志
東高30 波岡 伸一
東高30 中川 孝子

東高30 濱野 拓微
東高30 小原 ゆかり
東高30 藤塚 雅之
東高30 前川 裕昭
東高30 中村 耕也
東高30 吉野 毅
東高30 橋本 裕美
東高30 前川 英一
東高30 塚田 雅文
東高31 小早川 明也
東高31 塚田 善彦
東高31 加茂 千恵子
東高32 赤間 美樹
東高32 金澤 慎司
東高32 石田 伸

東高33 真田 美苗
東高33 小松 卓郎
東高33 上村 剛
東高33 北村 雅樹
東高33 霞 修治
東高33 平野 秀人
東高33 丸山 忠美
東高33 藤澤 伸悦
東高34 土肥 健作
東高34 西村 真樹
東高34 宮川 博昌
東高34 山田 宜裕
東高34 窪田 志保子
東高34 辻 峰子
東高35 山岸 ゆりか

東高35 濱野 珠江
東高35 川崎 都子
東高35 青嶋 宏
東高35 塩越 佳奈
東高35 中野 雄一
東高40 西 早哉佳
東高40 平野 千香子
東高41 小柳 知亜妃
東高41 河野 麻奈美
市函5 小林 昂平

(70名)



関東青雲同窓会
副幹事長

小原 ゆかり
(東高30回生)

「ジンパ」で気分をアゲル! 青雲バーベキュー大会2024

2024年(令和6年)9月15日 森のピアガーデン(神宮外苑にこここパーク内)

毎年恒例、関東青雲同窓会役員会主催のバーベキュー大会を昨年秋に無事開催することができました。場所はいつものように「森のピアガーデン」にて、ビール飲み放題、お肉食べ放題という酒池肉林コース。実はここのお肉食べ放題には「ラム肉」があるんです! タレを自前で持ち込み、ラム肉を浸していただく。く〜、たまりません! もちろんタレは「ベルのタレ」と「空知のタレ」、これはもう「バーベキュー大会」ではなく「ジンギスカンパーティ」といっても過言ではありません! そう、北海道民風に言うと「ジンパ」ですね。

そして宴は抽選会で最高潮を迎えます。「当たった、オレだべ」だの、「これさ、食べてみたがったのさ」だの、函館弁も炸裂! 皆様に喜んでいただくことができました。

また今回は新しいことにも挑戦。会場でお一人ずつ数秒の動画を撮影させていただき、参加者全員が出演する動画(某テレビ番組のパロディ風)を作成いたしました。とても楽しい動画になりました。

今年の秋にも開催を予定しております。世界でも身近でもいろいろなことがあります、何はともあれ同窓の仲間と「ジンパ」で、気分をアゲましょう!



関東青雲同窓会
副会長

宮川 博昌
(東高34回生)

レベルをアゲルぜ! 第9回 中村隆俊杯 関東青雲ゴルフコンペ

2024年(令和6年)11月8日 江戸崎カントリー倶楽部

この日のゴルフ場は晴天に恵まれて最高な同窓会ゴルフ日となりました。参加者は東高10回生から35回生までと、中村名誉会長元秘書の廣瀬さんの総勢15名。中でも静岡から泊まりで参加してくれた(ゴルフにドはまり中の)33回生 栗本千佳子さんは2日連チャンだったそうですが、本当に目一杯ゴルフを楽しんでるようでした。また10回生の皆さんはどなたも慣れたご様子で、しかも安定感抜群のプレイで惚れ惚れしてしまいました。



優勝: 青嶋 宏



ニアピン賞: 小林 渡洋雄

私は五十肩で何かりハビリをとゴルフを始めたのですが、徐々に「肩」も上がるようになりゴルフのお陰と感謝して、気張らずに参加しております。今回の優勝は一年の半分以上はゴルフコースに行っているという噂の35回生 青嶋君。ニアピン賞は10回生 小林先輩ただお一人(お見事です!)。ゴルフ場から賞品としてご提供いただいた「お米」は栗本先輩の元へ(結構重そうでしたけど電車で持ち帰ったんでしょうか?)。毎回世話役をしていただいています廣瀬さんからも、沢山の高価な商品をご提供いただきまして本当にありがとうございました。私の手元には参加賞の同窓会ロゴ入り「ゴルフボール」が。毎回笑い声の絶えないゴルフ好きが集う中村杯が大好きです! ゴルフ経験がある皆さん、一度参加してみませんか?



【参加者】飯田 治平、伊関 直美、金柿 陽子、小林 渡洋雄、古谷 桂子(以上 東高10回生)・小田 利隆(東高28回生)・鶴賀 裕人(東高30回生)・本間 靖之(東高32回生)・栗本 千佳子(東高33回生)・土肥 健作、中江 麻子、袴田 隆雄、宮川 博昌(以上 東高34回生)・青嶋 宏(東高35回生)・廣瀬 晶子(戸田中央メディカルケアグループ)



山本 眞里子
(東高16回生)

祝「喜寿会」青春真っ盛りの一日

2024年(令和6年)11月9日 第一ホテル両国

2024年(令和6年)11月9日、東京近郊に住む有志、東京イチロク会(卒業16回生)が主になって、東京の第一ホテル両国に於いて77歳のお祝い会を開催しました。札幌、函館、青森、愛知、千葉、神奈川、埼玉、東京など昭和41年卒業、16回生35人の男女が各地から集まって来ました。懐かしい顔あり、卒業以来初めて挨拶する顔あり、お母さんに似てきた顔あり、60年経つとあんな顔になるんだ〜と思ったり…。坊主頭で白球を追いかけていたアイツが優しくなおじいちゃまになっていました。

同期会を盛りアゲル!



姿は個人差あれ、各々の人生を生きてきた年輪があらわれていて当然ですが、この日の心は東高校当時の青春時代。話しに花が咲き、校歌を歌ったあと青春時代の替え歌も合唱しました。そして、男女が交互になり手をつないで、輪になり万歳三唱をしました。

同期の男女が手をつなぐのは、60年前のフォークダンス以来ですが、この日は支え合いの手つなぎだったかもしれません…。最後に「函館港まつり」を踊りました。函館から来た同期生が毎年踊っているということで、皆それにない思い出して楽しそうに踊ってくれました。

東高校卒業生なら、アンドンづくり、街歩き、その夜のキャンプファイヤーをいくつになっても思い出でしょう。あのころの青春時代を!! 77歳、心は青春真っ盛りの一日を楽しみました。

【青春時代】の替え歌

♪ 思い出あふれるふるさとよ いつも楽しい松風町
函館山から見渡せば はっきり見えますふるさとが
青春時代の夢達が あの街この街待っている
あの日の自分に会いたくて そんな青春イチロク会
アンドンかついで街あるき サクラとお堀の五稜郭
電停めぐって朝市へ 思い出します連絡船
青春時代の夢達が あの街この街待っている
あの日の自分に会いたくて そんな青春イチロク会 ♪

【参加者】 板倉 恵美 柴田 修治 羽場 静子 若狭 弘子 石岡 正行 大場 ともえ 尾谷 章 内藤 民夫 小杉 茂美 諏訪内 治子 原岡 路子
(名簿掲載順) 松林 美智子 山本 眞里子 宝田 智樹 齋藤 和之 佐藤 悦子 樋口 謙吾 浜 則子 宮下 日出夫 小林 悦子 村田 勉 越後 信智 津田 晃
畠田 透 木村 久美子 近藤 真理江 高橋 久雄 檜森 兄元 古川 道子 増野 建一 宮武 幸子 丹藤 和子 矢部 恭子 小林 幸子 山崎 英貴

【事務局から】

ウェブサイトやSNSも
ぜひお楽しみください。

<https://www.kantouseiun.com>



Facebook



<https://m.facebook.com/kantou.seiun/>



イベント写真が満載!
見てね〜

関東青雲同窓会「会則」は
ウェブサイトでご確認いただけます。



関東青雲同窓会役員

[2025年(令和7年)3月現在]

会長	横井 透 (東高30回生・昭和55年卒業)	副幹事長	小原 ゆかり (東高30回生・昭和55年卒業)
副会長	北村 雅樹 (東高33回生・昭和58年卒業)		霞 修治 (東高33回生・昭和58年卒業)
	宮川 博昌 (東高34回生・昭和59年卒業)		辻 峰子 (東高34回生・昭和59年卒業)
幹事長	土肥 健作 (東高34回生・昭和59年卒業)		塩越 佳奈 (東高35回生・昭和60年卒業)
		会計幹事	加茂 千恵子 (東高31回生・昭和56年卒業)
		監査役	上村 剛 (東高33回生・昭和58年卒業)

【事務局から】

年会費のご協力と 新規会員登録のお願い

当同窓会は、皆さまからご納付いただく年会費によって運営されています。年会費振り込み用紙【郵便払込取扱票】が同封されている方は、今年度(令和6年度)分の年会費が未納です。総会・懇親会に出席／欠席に関わらず、何卒、年会費のご納付をお願い申し上げます。(同封されていない方は、今年度分はご納付済みです。) また、同期のお知合いで未登録の方がいらっしゃいましたら、ぜひ会員登録のお勧めをお願いできれば幸いです。

年会費

1年ごと : 2,000円
5年分一括 : 8,000円
20年分一括 : 30,000円

会費納入口座

口座名義：函館東高等学校関東青雲同窓会
●郵便振替：00160-4-118019
●ゆうちょ銀行：当座 〇一九店 0118019

※【郵便払込取扱票】には必ず住所・氏名・〇〇回生・〇〇年卒をご記入ください。

重要

昨今、発送費が値上げになっていることから、運営費用に大きく影響が出ています。そのため長年にわたり年会費が未納の方には、総会・懇親会のご案内や会報などの発送を停止させていただきます。引き続き案内をご希望の方は、同封の払込み用紙にて年会費のご納付をお願い申し上げます。なお年会費納付状況は、本状の宛名ラベルに最終納入年度が記載されていますのでご確認ください。ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

年会費 永久会員の
皆様をお願いします。

過去に年会費の払込みを完了している永久会員の皆様に対し、年会費をお願いすることはございません。しかし、新規会員数の増加が今後もあまり見込めないことを考えると、「協力金」という形でご寄付をいただければ幸いです。関東青雲同窓会を今後も末永く維持・運営していくために、何卒ご支援くださいますようお願い申し上げます。

>>> 同封の振込用紙をご利用いただけます。